

エコアクション21

環境経営レポート



作成 2025 年 2 月 21 日

(活動期間 2024年 1 月～2024 年 12 月)



高千穂土木株式会社

《目 次》

1 .	組織の概要	1 頁
	※事業所名及び代表者氏名	
	※所在地	
	※事業の概要	
	※事業の規模	
	※推進組織図	
2 .	対象範囲	2 頁
	※対象範囲	
	※環境管理責任者氏名及び担当者連絡先	
	※レポートの対象期間	
	※レポートの発行日	
3 .	環境経営方針	3 頁
4 .	環境経営目標	4 頁
5 .	環境経営目標の実績	5 頁
6 .	環境経営計画の取組結果とその評価	6 頁
7 .	環境経営計画の次年度の取組内容	7 頁
8 .	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無	8 頁
9 .	代表者による全体評価と見直しの結果	8 頁

1. 組織の概要

※ 事業所名及び代表者氏名

高千穂土木株式会社
代表取締役 甲斐 和幸

※ 所在地

〒882-1101
本社 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井6293-2
電話 0982-72-2365 FAX 0982-72-6025
E-mail takachiho.doboku@proof.ocn.ne.jp

※ 事業の概要

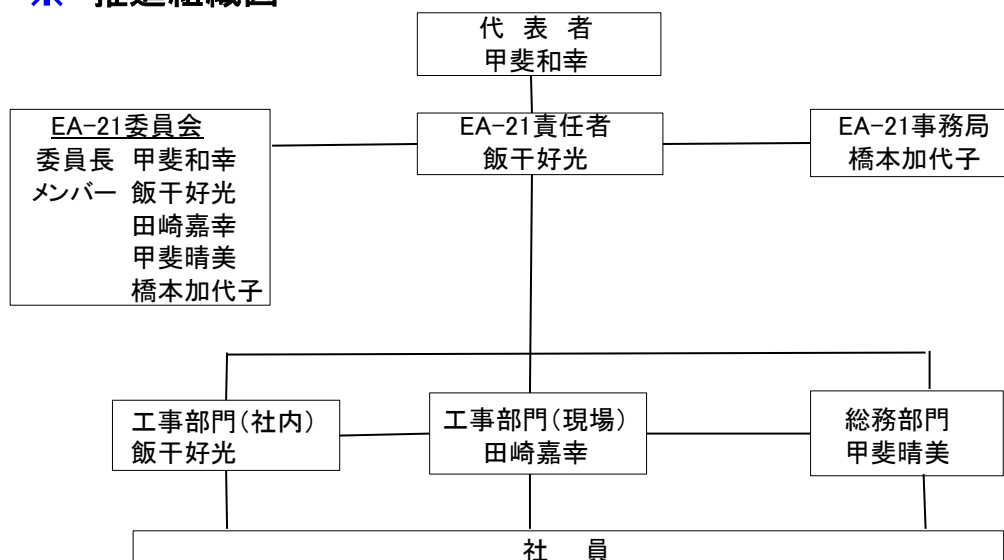
土木工事業、とび・土工工事業、管工事業、舗装工事業、
水道施設工事業、解体工事業

※ 事業の規模

創業 昭和32年2月15日
資本金 1,500万円

活動規模	2024年度	2023年度	2022年度
従業員数(人)	17	16	16
工事等の件数(件)	33	45	36
事業所床面積(m2)	92.74	92.74	92.74
倉庫床面積(m2)	353.19	353.19	353.19
資材置場面積(m2)	900	900	900

※ 推進組織図



2. 対象範囲

※ 対象範囲(全組織・全活動)

対象組織…………… 全社(関連事業所なし)
対象活動…………… 建設業
・土木工事業 ・とび土工工事業 ・舗装工事業 ・管工事業

※ 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	飯干 好光
担当者	橋本 加代子
連絡先	電話 0982-72-2365
	FAX 0982-72-6025

※ レポートの対象期間

2024年1月～2024年12月

※ レポートの発行日

2025年 2月 21日

3. 環境経営方針

高千穂土木株式会社は、地球環境保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、当社の事業活動のあらゆる分野で、社員が一丸となり、環境に配慮した行動に努め、この自然豊かな環境を未来に残すため、循環型社会の実現に貢献します

1. 高千穂土木株式会社は、建設業としての事業活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め継続的な改善に努めます
2. 関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します
3. 建設工事に於いて環境に与える影響を削減するため、次の事項に対して優先的に取り組みます
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
(設備運転・空調・車両管理等による、電気使用量・燃料使用量の削減)
 - ② 一般及び産業廃棄物の削減及びリサイクル化の推進
 - ③ ムダ抑制による節水活動
 - ④ 地域ボランティア活動
 - ⑤ 環境配慮型施工の推進
 - ⑥ 工程・安全・品質管理の強化
4. 環境保全に関する啓発と、地域での社会貢献活動に努めます

この環境方針は当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します

2019年 1月 15日 改訂

高千穂土木株式会社
代表取締役 甲斐和幸

4. 環境経営目標

取組み項目 (目標項目)(単位)		実施区	年度別環境目標			
			基準値 (2017年度～2021年 度の5ヶ年実績平均)	2023年 (2023年1月～ 2023年12月)	2024年 (2024年1月～ 2024年12月)	2025年 (2025年1月～ 2025年12月)
				基準比1.0削減	基準比1.5%削減	基準比2.0%削減
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)		全社	146,316	144,852	144,121	143,390
省エネルギー項目	①電力使用量の削減 (kWh)			基準比1.0削減	基準比1.5%削減	基準比2.0%削減
		事務所	6,645	6,579	6,545	6,512
	②ガソリン使用量の削減 (ℓ)			基準比1.0削減	基準比1.5%削減	基準比2.0%削減
		事務所	1,394	1,380	1,373	1,366
		現場	2,785	2,757	2,743	2,729
		全社	4,179	4,137	4,116	4,095
	③軽油使用量の削減 (ℓ)			基準比1.0削減	基準比1.5%削減	基準比2.0%削減
		現場	51,970	51,450	51,190	50,931
2. ムダ抑制による節水活動 (m ³)		全社	49	49	49	49
3. 建設廃棄物の削減 (t)		現場	—	環境経営計画の遵守		
4. 一般廃棄物の削減 (kg)		事務所	239.4	237.0	235.8	234.6
5. 環境保全取組実施率向上 (地域ボランティア活動/回)		全社	4回/年	4回/年	4回/年	4回/年
6. 環境配慮型施工の推進		現場		環境経営計画の遵守		
7. 工程・安全・品質管理の強化		現場		若手社員の育成を行う		

- * 2017年度～2021年度の5ヶ年実績の平均値を基準値とし、2025年までの3年間で二酸化炭素削減の目標を設定しました。
- * 購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力2020年の0.382を使用しています。
- * ガソリンの排出係数は2.32、軽油の排出係数は2.58を使用しています。
- * 建設廃棄物の削減目標は、環境経営計画の遵守を目標としています。
- * 環境配慮型施工の推進は、係る環境活動を徹底して実施することを目標としています。

5. 環境経営目標の実績

* 2024年1月～2024年12月までの実績は以下のとおりです。

区分		実施区	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	合計	達成率	評価
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	目標値	全社	32,903	33,937	36,340	40,941	144,121	110.0%	◎
	実績値		22,903	38,400	29,167	40,529	130,999		
電気使用量(kWh)	目標値	事務所	1,950	1,506	1,610	1,479	6,545	113.2%	◎
	実績値		1,388	1,242	1,826	1,328	5,784		
ガソリン使用量(ℓ)	目標値	事務所	326	317	363	367	1,373	113.2%	◎
	実績値		335	283	288	307	1,213		
	目標値	現場	676	556	661	850	2,743	54.1%	×
	実績値		1020	1204	1412	1438	5,074		
	目標値	全社	1002	873	1024	1217	4,116	65.5%	×
	実績値		1,355	1,487	1,700	1,745	6,287		
軽油使用量(ℓ)	目標値	現場	11,563	12,146	12,926	14,555	51,190	115.6%	◎
	実績値		7,453	13,363	9,506	13,943	44,265		
水使用量(m ³)	目標値	事務所	13	10	12	14	49	94.2%	○
	実績値		16	10	16	10	52		
建設廃棄物(t)	目標値	現場	環境経営計画を遵守しました。					100.0%	◎
	実績値		10.58	7.5	72.65	10.91	101.64		
一般廃棄物(kg)	目標値	事務所	55.1	60.7	60.5	59.5	235.8	103.1%	◎
	実績値		43.4	60.9	67.7	56.7	228.7		
ボランティア活動(回)	目標値	全社	4/年					125.0%	◎
	実績値		0	1	2	2	5		
環境配慮型施工	実績値	現場	環境経営計画の遵守					—	○
工程・安全・品質管理の強化	実績値	現場	若手社員の育成を行う					—	○

※下記の表の基準により評価しました

総合計の達成率評価基準			
100%以上	◎	80%～90%	△
90%～100%	○	80%以下	×

6. 環境経営計画の取組結果とその評価

取組項目	環境目標			
	取組実績	活動内容	責任区	取組結果と評価
二酸化炭素排出量の削減	144,121 kg-CO2 130,999 kg-CO2	省エネ活動の推進	全部門	省エネ活動の目標達成ができた。 今後も省エネ活動の推進を継続していく。
1. 電気使用量の削減	6,545 kWh	①不在や昼休み時の電気消灯の徹底	全部門	エアコンを入替し省エネ機能を使用したことと、省エネ活動取組で電気使用量の削減が順調にできている。 今後も節電に努める。
		②空調温度管理の徹底(20℃、28℃)		
	5,784 kWh	③照明器具の定期清掃		
		④扇風機の併用や外気の調整等でエアコンの利用を抑制している		
2. 燃料使用量の削減	ガソリン(全社) 4,116 ℓ	①エコドライブの徹底(アイドリングストップ)	全部門	ガソリン使用量は今回未達成となった。原因としてガソリン車の増車また遠方への通勤にガソリン車を使用したために使用量が増加した。 軽油使用量は重機使用の土工事が少なかったことで目標達成した。 今後も活動内容を継続し燃料使用量の削減に取り組む。
	ガソリン(全社) 6,287 ℓ	②車輛の燃料使用量と走行距離の記録による燃費管理と意識向上		
		③日常点検の徹底		
	軽油 51,190 ℓ	④重機のアクセル8割運動の推進		
	軽油 44,265 ℓ	⑤段取り良い前準備で忘れ物などをなくし、折り返し運行の撲滅を図る		
3. 節水活動	49 m3	①節水シールの貼付や節水の呼びかけを行う	総務部	節水意識が定着しつつあり、継続的な活動の取り組みができた。 今後も節水意識が定着するよう活動を継続していく。
	52 m3	②定期的な漏水点検		
4. 建設廃棄物排出量の削減	施工計画書とおりの廃棄の遵守	①管理票による適正処理	工事事務局	各工事ごと産業廃棄物管理票(マニフェスト)を作成し適正処理を行っている。 今後は残余材の再利用や残余材の発生抑制に努力する。
		②廃棄物の分別の徹底		
		③再資源廃棄物の再資源化の推進		
		④こまめな資材発注による残余材発生抑制		
		⑤残余材持ち帰りによる再利用の推進		
5. 一般廃棄物排出量の削減	235.8 kg	①廃棄物の計量と記録	EA-21 事務局	目標の達成はできた。 さらに分別の意識を持ち、資源ごみのリサイクルを行う。またコピー機の機能を使用し、無駄コピーが減るよう努力する。
	228.7 kg	②廃棄物の分別徹底によるリサイクルの推進		
		③コピー用紙などの節減(ペーパーレス化、裏紙使用など)		
6. 環境保全取組実施向上	4回/年	①地域ボランティア活動参加	EA-21 事務局	地域、及び会社独自のボランティア活動は社員全員に呼びかけることで目標達成した。 現場や事務所付近も清掃しきれいにしよう心掛けた。 今後も継続して取り組む。
		②会社独自のボランティア活動		
		③現場付近や事務所周辺は常に清掃し、整理整頓に努めている		
7. 環境配慮型施工の推進	環境経営計画の遵守	①環境配慮型重機の使用	工事事務局	施工計画書に基づき環境への負荷に配慮した資材、重機の利用を行った。 今後も環境経営計画を遵守する。
		②建設機械のアイドリングストップ		
		③環境配慮資材の購入・使用		
8. 工程・安全・品質管理の強化	若手社員の育成を行う	①施工計画書に基づいた現場作業の徹底	工事事務局	施工計画書に基づいた現場作業を行い、工期内完成を目指した。 若手社員の育成に力を入れて、人材不足を補うよう努める。
		②工事成績評定点83点以上を目指す		
		③若手社員の育成を行い人材不足を補う		

7. 次年度の環境経営目標と環境経営計画

取組項目	環境目標	活動内容	責任区
二酸化炭素排出量の削減	143,390 kg-CO2	省エネ活動の推進	全部門
1. 電気使用量の削減	6,512 kWh	①不在や昼休み時の電気消灯の徹底 ②空調温度管理の徹底(20℃、28℃) ③照明器具の定期清掃 ④扇風機の併用や外気の調整等でエアコンの利用を抑制している	全部門
2. 燃料使用量の削減	ガソリン(全社) 4,095 ℓ 軽油 50,931 ℓ	①エコドライブの徹底(アイドリングストップ) ②車両の燃料使用量と走行距離の記録による燃費管理と意識向上 ③日常点検の徹底 ④重機のアクセル8割運動の推進 ⑤段取り良い前準備で忘れ物などをなくし、折り返し運行の撲滅を図る	全部門
3. 節水活動	49 m3	①節水シールの貼付や節水の呼びかけを行う ②定期的な漏水点検	総務部
4. 建設廃棄物排出量の削減	施工計画書どおりの廃棄の遵守	①管理票による適正処理 ②廃棄物の分別の徹底 ③再資源廃棄物の再資源化の推進 ④こまめな資材発注による残余材発生抑制 ⑤残余材持ち帰りによる再利用の推進	工事部
5. 一般廃棄物排出量の削減	234.6 kg	①廃棄物の計量と記録 ②廃棄物の分別徹底によるリサイクルの推進 ③コピー用紙などの節減(ペーパーレス化、裏紙使用など)	EA-21事務局
6. 環境保全取組実施向上	4回／年	①地域ボランティア活動参加 ②会社独自のボランティア活動 ③現場付近や事務所周辺は常に清掃し、整理整頓に努めている	EA-21事務局
7. 環境配慮型施工の推進	環境経営計画の遵守	①環境配慮型重機の使用 ②建設機械のアイドリングストップ ③環境配慮資材の購入・使用	工事部
8. 工程・安全・品質管理の強化	若手社員の育成を行う	①施工計画書に基づいた現場作業の徹底 ②工事成績評定点83点以上を目指す ③若手社員の育成を行い人材不足を補う	工事部

・環境経営計画は全社員に徹底する為にも前年度の計画を継続するが、他に効果的・効率的な活動がある場合や社会の情勢及び事業の大きな変化があった場合等は随時見直す。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

関連法規制の遵守状況確認を実施した結果、違反はありませんでした。
また、関係当局からの指摘、及び地域住民からの訴訟もありませんでした。

法規名	該当する要求事項	評価
廃棄物処理法	委託契約の締結	遵守
	マニフェストの交付、保管義務	遵守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	遵守
	多量排出事業者 計画書、実施書	遵守
	保管場所の掲示	遵守
建設リサイクル法	発注者への書面による計画等説明、完了報告	遵守
	必要事項を都道府県知事に届け出	遵守
	分別解体、再資源化促進、再資源使用	遵守
大気汚染防止法	計画書の提出	該当なし
	解体工事時の措置	該当なし
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	遵守
騒音規制法	特定建設作業の実施の届出	該当なし
振動規制法	特定建設作業の実施の届出	該当なし

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し事項	今回の評価	指示
①環境経営方針について	変更なし	なし
②環境経営目標及び環境経営計画について	全体としては削減目標を達成できている。	次年度も環境経営計画、環境経営目標に沿って取り組むこと。
③実施体制について	—	なし
④環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況について	関連法規に対し、違反は見られない。	関連法規を遵守して取り組むこと。
⑤環境コミュニケーションについて	苦情・クレーム等報告等もなし。	苦情・クレーム等が発生した場合は迅速に対応すること。
⑥全般について	環境経営計画に沿って取組みを行っている。	今後も継続して取り組むを行うこと。